



2023 明海大学



「大学と地域連携の未来」 シンポジウム

アフターコロナを見据えた大学教育と地域連携 ～地域連携の現状を踏まえたICTの可能性～

2022年度に明海大学が実施した小中高等学校等に対する支援についてご紹介します。アフターコロナやウイズコロナも見据えながら広く教育関係者や関係機関の皆様とともに、今後の大学の地域連携の在り方について考える機会としてまいります。

対面・オンラインのハイブリッド開催

開催日 2023年
2月4日 (土)
12:00-16:40

会場 明海大学浦安キャンパス
(2206、2205、2204講義室)

開催形式 ハイブリッド形式
(対面とZoomによるオンラインの併用)
定員▶300名 対面▶100名 オンライン▶200名

基調講演

12:40~13:40

講師

合田 哲雄 氏

文化庁次長 1992年文部省入省。NSF(全米科学財団)フェロー、
高等教育局企画官、初等中等教育局教育課程課長・財務課長、内閣府・
審議官等を経て22年9月から現職 兵庫教育大学客員教授。著書に
『学習指導要領の読み方・活かし方』(教育開発研究所)等

演題

**DX時代の
授業づくり
について考える**

学生発表

13:50~15:20

発表する学生が、各グループ会場を順番に巡りプレゼンテーションを行います。
(各グループあたり移動を含み30分)

グループA

**大学生による
日本語指導支援**

グループB

**留学生等による児童・
生徒との交流**

グループC

**大学生による
学習支援**

パネルディスカッション

15:30~16:30

テーマ

**アフターコロナを見据えた大学教育と地域連携
～地域連携の現状を踏まえたICTの可能性～**

概要

東京都足立区の小学生・中学生との交流、東京都立高校生との交流、東京都立高校への訪問の様子について、実際に携わった本学の留学生と学生が具体的な内容を紹介します。

I. 足立区小学生との交流

「明海大学あけみ英語村2022」

本学の留学生と足立区の小学生が英語を使って異文化交流を行う「明海大学あけみ英語村2022～小学生異文化交流プロジェクト～」を6月と10月に計2回開催した。

6月29日には足立区立舎人(とねり)小学校5年生 80人と10月4日には足立区立栗原小学校4年生56人が本学を訪れ、本学の外国人留学生・日本人学生約60人と一緒に英語を使った異文化交流を行いました。はじめは緊張した様子の小学生たちでしたが、キャンパスツアーで大学の施設をめぐり、留学生から英語による説明を聞く中で少しずつ打ち解け、その後のゲームでは、ネイティブスピーカーの教員も交えて大いに盛り上がりました。

終了後、小学生たちからは、「今日とはとても楽しかったです」「I had fun!」「もっと活動したかったです」など、沢山の感想が寄せられました。

一方、参加した留学生たちからも「小学生の楽しそうな表情を見ることができたことが嬉しかったです!」「とても貴重な経験ができました。小学生と英語でコミュニケーションをとれる機会はなかなかないので、同じような機会があればまた参加したいと思います」「小学生の英語力にもびっくりしましたし、簡単な英語でしたが、コミュニケーションをとることがとても楽しかったです」といった声が寄せられました。



II. 足立区中学生との交流

「留学生と中学生の交流」

本学の留学生と足立区の中学生在英語を使って異文化交流を行う異文化交流学習会を今年度は4回開催した。

まず、9月9日に本学の留学生8人が足立区立新田中学校の1年生約180人と2年生約190人との間で英語による異文化交流学習会をもちました。

次に、10月17日に本学の留学生8人が足立区立第十中学校の2年生約160人と異文化交流学習会を持ちました。

12月14日には、本学の留学生8人が足立区立扇中学校の8年生(中学2年生)約60人と9年生(中学3年生)約70人と異文化交流学習会をもちました。

最後に、12月19日に本学の留学生7人が足立区立第五中学校の2年生100人と異文化交流会を開催しました。計4回の当事業には、アメリカ、韓国、タイ、台湾、中国、ドイツ、ドミニカ共和国、フィリピン、モンゴルの計9つの国・地域出身の本学留学生が参加しました。

参加した中学生は「英語が苦手でも今回は、楽しく話せることができました。」

今回の事を通して少し英語の会話が『楽しい』とか『また話してみたいな』と思えました」や「世界には、色々な文化があるんだと思った」などと答えてくれました。



III. 都立高校生徒との交流

「留学生と高校生の交流」

5月29日に、「大学生と話そう会 2022」が開催されました。このイベントは、明海大学と連携高校との関係をより強固にするとともに、高校生が直接大学生と交流することで大学での勉強や学生生活について理解を深めることを目的として、実施しているものです。

今回は、都立飛鳥高校、都立竹台高校、都立南葛飾高校、都立葛西南高校、県立浦安高校の5校から1、2年生73人が参加しました。高校生たちは、午前中に大学紹介やオープンキャンパスの学科魅力発見コーナー展示などを見学した後、昼食は学食体験をし、午後30周年記念館スチューデントホールでの交流会に参加しました。学生11人及び本学外国人留学生13人と高校生が小グループに分かれて、高校生から大学生に質問したり、地球規模の課題についてディスカッションを行いました。

参加した高校生からは、「大学生生活に魅力を感じました」「大学生と話ができて、明海大学のことがいろいろ学べてよかったです」などの感想が聞かれました。



IV. 都立高校訪問

「都立田柄高校への訪問」

7月13日に、本学と高大連携協定を結んでいる東京都立田柄高校において「留学生との交流会」が行われました。これは、本学外国人留学生と高校生との交流を通じてお互いの文化に触れ理解を深めることを目的としたものです。

本学からは、中国、台湾、韓国、ベトナム出身の本学外国人留学生6人が交流会に参加しました。本学留学生は田柄高校の1年生5クラスに分かれ、それぞれ自国文化について写真やスライド資料を投影しながら紹介を行いました。

最後に留学生全員と国際交流委員を務める生徒たちが視聴覚教室に集まり、留学生と生徒たちが懇談して交流を深めました。

参加した留学生からは、「これまでに経験した交流会はすべて英語によるものでしたが、日本語で交流するのは初めてで、とてもいい経験になりました」「お互いの文化の良いところを見習いながら、視野を広げることが大切であると感じました」と語っていました。



本学では、本学の留学生と小学生・中学生・高校生との異文化交流を推進しています。小学生・中学生・高校生にとっては、留学生と主に英語を使ってコミュニケーションできる貴重な機会となり英語学習のさらなる必要性を感じる機会になるとともに、世界のさまざまな文化との出会いと相互理解の大切さなどを体験を通して学びます。本学留学生も日本の学校文化や子どもたちと触れ合うことで、日本へのより深い理解につながります。

概要

浦安市「小学校英語支援」と「青少年自立支援未来塾」、足立区「区民対象の英語講座」と「英語マスター講座修了者スピーチプレゼンテーションコンテスト」、都立高校「校内寺子屋」、浦安市「ドラフトゼミ」における学生による学習支援の様子について具体的な内容を紹介します。

I. 浦安市 小学校英語支援

明海大学は2017年に浦安市教育委員会と教育に関する連携協定を締結して以来、市立小学校の英語・外国語活動に学生が参加し、授業の補助を行っている。

2022年度は7月に活動を開始したが、コロナの影響で一部中止せざるを得ない状況もあった。9月からは、市立富岡小学校、見明川小学校、高洲小学校、高洲北小学校、明海小学校の5校に外国語学部英米語学科4年生の9人が参加した。

小学校の先生方からは「ALTの入れない授業でお手伝いいただき助かった」「明るく子どもたちに接してくれて休み時間でもひっぱりだこの人気者でした」といった感想が寄せられた。



II. 浦安市 青少年自立支援未来塾

浦安市青少年自立支援未来塾は、浦安市教育委員会が実施している市内公立中学校生徒を対象とする事業である。生徒が学習習慣を確立し基礎・基本の学力を身に付けることができるよう、地域の退職教員や民間教育事業者、大学生が学習支援を行っている。今年度は英語教室、数学教室とも6月から2月まで、6か所の公民館を会場に17回行われる。

本学からは、教職課程を履修する日本語学科と英米語学科の2、3、4年生のうち、英語教室に7人、数学教室に10人が参加し、中学生の学習を支援している。

学生からは「生徒が困っている箇所を自分なりに分かりやすく教えることができたためやりがいを感じ、いい経験になった」といった感想を聞くことができた。



III. 足立区民対象の英語講座

この講座は、2017年に東京オリンピック・パラリンピック開催に対応するための、「おもてなし語学ボランティアブラッシュアップ講座」と、「初級英語講座」との2本立てで1講座全5回、年間に2クール実施の形で始まった。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い開催中止、2021年度はオンライン開催とはなったが、今年で5回目となる人気の高い事業である。

今年度は初級講座全5回を2クール行い、毎回5～6人の英米語学科教職履修学生がペアワークやグループワークをサポートした。

講座資料を予めデータ送信し、参加者が予習できるように工夫した。



IV. マスター講座修了者成果発表会

「足立区英語マスター講座」を修了した中高生が、本学を会場としてその成果を発表する場である。

第4回となる今年度は11月13日（日）に足立区の中高生7人と英米語学科で教職を履修する2年生5人がゲストスピーカーとしてスピーチやプレゼンテーションを行った。

運営面では英米語学科教職履修学生たちが総合司会をはじめ、進行補助、審査員補助、オーディオ機器操作、記録動画、写真撮影などを担当した。

英語教員を目指す大学生にとっては中高生の英語学習の一端を知る機会であり、中高生にとっては英語を使いこなす大学生の姿が学習への動機づけとなった。



V. 都立高校 校内寺子屋

本学では、高大連携協定を結んでいる東京都立葛西南高校に、英語の基礎学力を向上させる放課後の講習「校内寺子屋」の講師として毎年学生が訪問しており、今年で7年目になる。

講師の学生は、「一人一人異なる生徒の理解に合わせて教えられるようになりたい」「生徒が分かったと言ってくれることが一番の励みになる」などの抱負や感想を述べている。



VI. 浦安市 ドラフトゼミ

ドラフトゼミは、NPO法人ワーカーズコープが浦安市教育委員会の委託を受けて実施している学習支援事業である。

浦安市内にある大学の学生が中心となり、主に小学校4年生から高校3年生を対象に学習や進路に関する支援を行っている。

本学からは、外国語学部の学生11人が分担して週3日、夕方に支援を行っている。



大学生にとって地域への支援という形で英語学修成果を活用できることは大変大きな喜びです。大学生と地域の方々双方が満足感を得られるこの学習支援を今後も継続できればと願っています。

概要

令和2年度、令和3年度に引き続き、明海大学が文部科学省の委託を受けて小学校外国語活動・外国語科に関する講座を行った。

令和2年度は、本学と教育連携に係る協定を締結し様々な取組を実施している東京都足立区教育委員会、千葉県浦安市教育委員会、秋田県横手市教育委員会、令和3年度からは、福島県いわき市教育委員会と新潟県妙高市教育委員会が連携教育委員会に加わった。

そして、令和4年度には、新たに参加希望のあった東京都狛江市教育委員会が連携することとなった。また、配信動画を視聴するオブザーバー・ボランティアとして、東京都神津島村教育委員会、茨城県土浦市教育委員会、佐賀県伊万里市教育委員会も参加した。

令和3年度までは、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）や小学校英語教育学会愛知支部理事の協力を得て実施した。令和4年度は、これらに加えて、公益財団法人日本英語検定協会の協力を得て実施した。



目的

小学校外国語活動・外国語科が導入された学習指導要領を円滑に実施するため、教師の負担を軽減しつつ、質の高い授業を行える指導体制を構築するため、令和2年度と令和3年度と同様に、明海大学「小学校外国語科等講座」（通称：MEIKAI-JOEプラス・2022）を開発・実施した。

受講対象者

連携教育委員会の公立小学校等の教員等。また、令和3年度に中学校の学習指導要領の全面実施となったことから、小学校における外国語科等の内容を中学校の英語教育に円滑に移行していくことが大切である。このことを踏まえて、中学校の英語科教員も受講対象に加えることとした。

主な講座内容

令和2年度において、本学が実施した講座は、本学との連携協定を締結している教育委員会管下の小学校指導訪問等で課題として捉えたことを中心に構成して、予め、講座のテーマを定めて実施した。

しかし、講座参加者の多くが、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の各領域の具体的な活動事例の研修や、実際の授業映像を活用した講座（実際の授業に対する協議・指導・講評）による研修を望んでいることが判明した。

また、令和3年度に実施した本委託事業においても、こうした講座の受講希望の声は大きく、令和3年度に引き続き令和4年度においても、受講者が「明日の授業」にすぐに生かせる、いわゆるhands-on研修としての位置づけで講座内容を構成した。

新学習指導要領の原点

学習指導要領の基本的考え方

児童が自ら学び、能力を伸ばすこと（意）

学びに向かう力、人間性等 自らのよき

どのように社会・世界と関わり、よきよい人生を築くか

知識だけでは自信は生まれない

知識を活用することで自信が持つ

何を理解しているか 何が得意か

理解していること、できることをどう使うか

知識、技能 思考力、判断力、表現力等

「さあ、練習しよう！ I want to go to... I want to eat...」

I want to go to... (目的地) 行き先を聞き取ります。

I want to eat... (食べ物) 食べ物を聞き取ります。

いつかの授業風景を思い出してあげたいと思います。本当に思い出せたら、自分らしい授業ができてくると思います。ぜひ思い出して活用してください。

「たからものクイズ」

What is my treasure?

講座ID	日時	テーマ	講師
1回	5/24(火) 15:20-18:20	新学習指導要領の原点 【研修型】	東協協会会長・上智大学名誉教授 吉田和孝
2回	6/26(火) 15:20-18:20	ティーム・ティーチング 【7-9/10/11/12型】	明海大学教授 白根英樹 明海大学教授 末村未子 明海大学教授 Patricia Hayslett 明海大学准教授 Tyson Roda
3回	7/26(木) 13:30-14:40	聞くこと・話すこと 【協議・演習型】	J-SHINE理事 青森県立大学非常勤講師 井原ひとみ
4回	7/28(木) 14:30-16:00	読むこと・書くこと 【協議・演習型】	小学校英語指導者学会愛知支部理事 茨城県立大学教授 池田潤
5回	8/1(月) 9:30-10:40	言語活動の効果高めるための 1対1ペアワークの活用 【協議・協議型】	明海大学教授 金平潤寿
6回	8/1(月) 10:50-12:00	学校段階間の接続の重要性 【協議・協議型】	明海大学教授 板本昭 明海大学教授 石原洋
7回	8/2(火) 9:30-10:40	ティーム・ティーチング 【授業研究①】 浦安市	明海大学教授 白根英樹 明海大学教授 末村未子 明海大学教授 Patricia Hayslett 明海大学准教授 Tyson Roda
8回	8/2(火) 10:50-12:00	読むこと・書くこと 【授業研究②】 足立区	小学校英語指導者学会愛知支部理事 愛知県立大学教授 池田潤
9回	8/22(木) 15:20-16:20	聞くこと・話すこと 【授業研究③】 いわき市	J-SHINE理事 青森県立大学非常勤講師 井原ひとみ
10回	10/25(火) 15:20-16:20	ティーム・ティーチング 【授業研究④】 横手市	明海大学教授 白根英樹 明海大学教授 末村未子 明海大学教授 Patricia Hayslett 明海大学准教授 Tyson Roda
11回	11/14(月) * 15:20-18:20	聞くこと・話すこと 【授業研究⑤】 妙高市	J-SHINE理事 青森県立大学非常勤講師 井原ひとみ
12回	12/13(火) 15:20-18:20	学校段階間の接続の重要性 【授業研究⑥】 狛江市	明海大学教授 板本昭 明海大学教授 石原洋

テーマ

アフターコロナを見据えた大学教育と地域連携 ～ 地域連携の現状を踏まえたICTの可能性～

概要

本学の地域連携の現状と成果を踏まえ、連携事業に関わる教育委員会や連携高等学校、参加した留学生・学生の視点から、ICTを活用した今後の地域連携について議論を深めます。

パネリスト



さとう まなぶ
佐藤 学氏
足立区教育委員会
学力定着推進課 指導主事



やまざき さとこ
山崎 聡子氏
東京都立田柄高等学校
校長



うー いうえい
呉 義偉
明海大学 外国語学部
日本語学科 4年



こじま はるか
児島 晴香
明海大学 外国語学部
英米語学科 3年

コーディネーター



おおい けみのり
大池 公紀
明海大学
外国語学部 教授
教職課程センター
副センター長

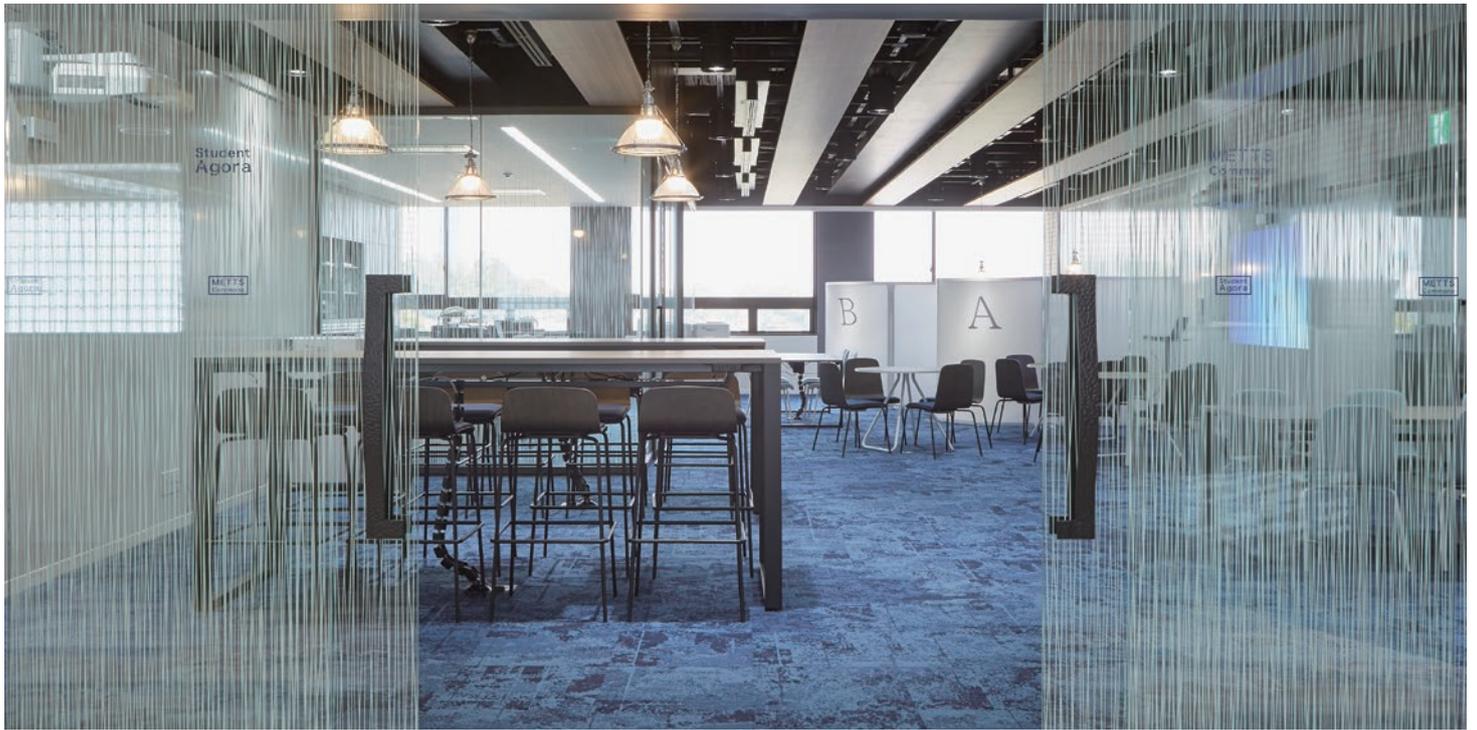


よねむら たまこ
米村 珠子
明海大学
教職課程センター・
地域学校教育センター 教授

流れ

- ① 自己紹介
- ② 地域連携の現状と成果
- ③ 地域連携におけるICTの活用について
- ④ 質疑・応答
- ⑤ まとめ

メモ



なりたいじぶん大学。
明海大学
MEIKAI UNIVERSITY

外国語学部 / 経済学部 / 不動産学部 / ホスピタリティ・ツーリズム学部 / 保健医療学部 / 歯学部